

policy

5

教育について  
(環境設定)



# 周りの様々な環境に 好奇心や探求心を持って関わり 生活に取り入れていく力を養う



園庭では、草花や虫たちが豊かな四季を知らせてくれます。

保育室には木、布、石、子どもの見立てが育まれるオモチャ。

子どもたち自身が手を伸ばし、自分で遊び込めるような環境が大切です。

森や川にあるような、自然な色味を意識した園内の配色も、子どもたちのほっとする気持ち  
や心地良さへ繋がります。

毎日過ごす場所だから。

安心できて、集中できて、心がのびやかであるように。

方針に基づいた一貫性のある環境づくりを心掛けています。

自然の美しさ・  
不思議さ・季節による  
生活の変化に  
気付く

## 自然から、感謝を持っていただく

野の小さな花も、神さまが創り愛してくださっていることを知り、同じように守られていることを感じ取って毎日を過ごすように…と願っています。

保育園周辺にある四季折々の自然を愛し、神さまが与えてくださる時を知り、季節の変化を五感で感じながら、積極的に生活や遊びの中に取り入れます。見立てや空想の世界を広げて、小さな時から豊かな感性や好奇心を育てるように、本物の持つ優しさや荒々しさを感じ取っていきます。



身近なものに  
興味を持ち、  
生活に取り入れる

## 「活かす」物づくりで、つくる喜びを

自然の中で見つけた物をそのままにせず、触れて、持ち帰って、制作や園内の装飾に活かします。木・布・毛糸・花・木の実…。たくさんの種類や質があることに驚きながら、工夫して、色々な形に変化させていきます。できた作品ひとつひとつは、子どもたちにとって愛おしい宝ものになります。また、染色や織物など、人々が昔から生かしてきた知恵を知ること子どもたちの楽しみのひとつ。物づくりの喜びを感じることができる体験です。



## 正しい生活の仕方を自然に身に付けられるように

人と接することは社会性の発達に欠かせません。保育園ではいつも年上の子がそばにいて、年下の子は憧れを持って過ごせるように、縦割りの関わりを意識しています。見守られる中で経験を増やし、自信に繋げ、様々な知識を生かして創意工夫をしたり、見通しを立てる力を養います。

子どもは地域社会の大切な一員でもあります。世代を超えた人々との出会いや地域社会への興味関心を広げる機会は無くしてはならないものです。卒園児交流・世代間交流・夏祭り・老人施設訪問・感謝訪問などを通して関わりを持っています。



様々な世代の人と  
ふれあい、憧れや  
繋がりをを感じる

## column

### テーマが1年の活動の根っこになります

自然の恵みに感謝しながら、年間の保育テーマを遊びに取り入れ、探求していくことを楽しみます。テーマは「森」「川」「海」「空」など自然の摂理。イメージを膨らませながら様々な活動をし、お泊り会・運動会・親子遠足の中にも取り入れてきました。夜空の星を眺める遠足なども楽しみます。